

## 浜名湖で確認されたクラゲ類

岡本一利<sup>\*1</sup>・杉村達樹<sup>\*2</sup>・大竹純也<sup>\*2</sup>・藤久実<sup>\*2</sup>・加藤修<sup>\*2</sup>

静岡県浜名湖において2005～2015年に採取されたクラゲ類の種類を取りまとめた。刺胞動物門と有櫛動物門の2門、5綱、9目、15科、18属、18種のクラゲ類が認められた。

キーワード：クラゲ類，分類，リスト，浜名湖

浜名湖は、南端にある幅約200mの湖口(今切口)を通じて外海(遠州灘)から海水の影響を、また都田川をはじめとする流入河川から陸水の影響を受ける、比較的浅い閉鎖性の汽水湖である。静岡県水産技術研究所浜名湖分場における今までの調査の結果、2014年1月現在で魚類、甲殻類、貝類等合計794種類の水生生物が浜名湖内で記録されている。しかしながら、これらの中には、異常発生や漁業被害を起こすミズクラゲ *Aurelia aurita*<sup>1, 2)</sup> など、寒天質性の浮遊性動物の総称である<sup>3)</sup>クラゲ類は含まれていない。今回浜名湖において確認されたクラゲ類の種類とその出現状況を取りまとめたので報告する。

### 方法

2005年4月～2015年3月にかけて、浜名湖で採取されたクラゲ類について整理した。柄杓により採取したサンプルを静岡県水産技術研究所浜名湖分場に持ち帰り、種の同定を行った。分類、学名等は原色検索日本海岸動物図鑑 I<sup>4)</sup>、その他の文献<sup>5, 6)</sup>を参照した。

### 結果

表1に、浜名湖で確認されたクラゲ類の分類リストを、出現頻度、出現時期とともに示した。刺胞動物門と有櫛動物門の2門、5綱、9目、15科、18属、18種のクラゲ類が認められた。綱別の確認種数は、ヒドロ虫綱8種、立方クラゲ綱1種、鉢虫綱6種、有触手綱2種、無触手綱1種であった。このうち9種のクラゲの出現頻度が高く、冬から春までに出現頻度が高いものが、ドフラインクラゲ

*Nemopsis dofleini*, ウラシマクラゲ *Urashimea globosa*, カミクラゲ *Spirocodon saltator*, アカクラゲ *Chrysaora pacifica*, カブトクラゲ *Bolinopsis mikado*, ウリクラゲ *Beroe cucumis*の6種、春から夏までによく観察されるものがオワンクラゲ *Aequorea coerulescens*, ミズクラゲ *Aurelia aurita*, ビゼンクラゲ *Rhopilema esculentum*の3種であった。出現頻度が高くない残りの9種においては、夏から秋に観察される事例が多かった。

### 文献

- 1) 安田徹(1988): 水産研究叢書37 ミズクラゲの研究, 社団法人 日本水産資源保護協会, 東京, 139pp.
- 2) 後藤裕康(2004): 漁獲量変動からみた浜名湖の漁場環境の変化, 静岡県水産技術研究所研究報告, 39, 31～50.
- 3) 奥谷喬司(1994): 海辺の生きもの, 山と溪谷社, 東京, 367pp.
- 4) 西村三郎(1992): 原色検索 日本海岸動物図鑑 I, 保育社, 大阪, 425pp.
- 5) 並河洋・楚山勇(2000): クラゲガイドブック, ティビーエス・ブリタニカ, 東京, 118pp.
- 6) 三宅裕志・Dhugal Lindsay(2013): 110種のクラゲの不思議な生態 最新クラゲ図鑑, 誠文堂新光社, 東京, 127pp.

2015年12月4日受理

静岡県水産技術研究所浜名湖分場業績第157号

\*1静岡県水産技術研究所浜名湖分場

\*2浜名湖体験学習施設ウォット(日本海洋調査株式会社)

表1 浜名湖において確認されたクラゲ類\*の種類と出現状況

門 (Phylum)	綱 (Class)	目 (Order)	科 (Family)	和名	学名	出現頻度*	出現時期	
刺胞動物門 CNIDARIA	ヒドロ虫綱 HYDROZOA	花クラゲ目 ANTHOMEDUSAE (ATHECATA)	エダクラゲ科 Bougainvillidae	ドフラインクラゲ	<i>Nemopsis dofleini</i>	++	春	
			ウラシマクラゲ科 Halimedesidae	ウラシマクラゲ	<i>Urashimea globosa</i>	++	春	
		軟クラゲ目 LEPTOMEDUSAE (THECATA)	キタカミクラゲ科 Polyorchidae	カミクラゲ	<i>Spirocodon saltator</i>	++	冬～春	
			オワンクラゲ科 Aequoreidae	オワンクラゲ	<i>Aequorea coerulescens</i>	++	春～夏	
			マツバクラゲ科 Eirenidae	ギヤマクラゲ エイレネクラゲ	<i>Tima formosa</i> <i>Eirene menoni</i>	+	冬～春 秋～冬	
			オオカラサクラゲ科 Geryoniidae	カラサクラゲ	<i>Liriope tetraphylla</i>	+	秋～冬	
			カツオノエボシ科 Physaliidae	カツオノエボシ	<i>Physalia physalis</i>	+	春～夏	
			アンドンクラゲ科 Carybdeidae	アンドンクラゲ	<i>Carybdea brevipedalia</i>	+	夏	
			旗ロクラゲ目 SEMAEOSTOMAE	オキクラゲ科 Pelagiidae	アマサクラゲ アカクラゲ	<i>Sanderia malayensis</i> <i>Chrysaora pacifica</i>	R ++	夏 冬～春
				ミズクラゲ科 Ulmaridae	ミズクラゲ	<i>Aurelia aurita</i>	++	春～夏
鉢虫綱 SCYPHOZOA	根ロクラゲ目 RHIZOSTOMAE	イボクラゲ科 Cepheidae	エビクラゲ イボクラゲ	<i>Netrostoma setouchianum</i> <i>Cephea cephea</i>	R R	秋 秋		
		ビゼンクラゲ科 Rhizostomidae	ビゼンクラゲ	<i>Rhopilema esculentum</i>	++	初夏		
		カブトクラゲ科 Bolinopsidae	カブトクラゲ	<i>Bolinopsis mikado</i>	++	冬～春		
		チヨウクラゲ科 Ocyropsidae	チヨウクラゲ	<i>Ocyropsis maculata</i>	+	冬～春		
		ウリクラゲ科 Beroidea	ウリクラゲ	<i>Beroe cucumis</i>	++	冬～春		
		有触手綱 TENTACULATA	フウセンクラゲ目 CYDIPPIDA	イボクラゲ科 Cepheidae	エビクラゲ イボクラゲ	<i>Netrostoma setouchianum</i> <i>Cephea cephea</i>	R R	秋 秋
				ビゼンクラゲ科 Rhizostomidae	ビゼンクラゲ	<i>Rhopilema esculentum</i>	++	初夏
		有櫛動物門 CTENOPHORA	無触手綱 ATENTACULATA	カブトクラゲ科 Bolinopsidae	カブトクラゲ	<i>Bolinopsis mikado</i>	++	冬～春
				ウリクラゲ科 Beroidea	ウリクラゲ	<i>Beroe cucumis</i>	++	冬～春

\*: ++ 頻繁に確認, + 普通に確認, R 稀に確認

## A checklist of the gelatinous zooplankton collected in Lake Hamana

Kazutoshi Okamoto, Tatsuki Sugimura, Jyunya Ohtake, Hisami Toh, and Osamu Katoh

**Abstract** We present a species checklist of the gelatinous zooplankton groups, including Cnidaria and Ctenophora. We collected samples from 2005-2015 at Lake Hamana, a semi-enclosed bay in Shizuoka prefecture. We identified 18 species from 2 phyla, 5 classes, 9 orders, 15 families, and 18 genera. At the species level, we identified eight *Hydrozoa spp.*, one *Cubozoa sp.*, six *Scyphozoa spp.*, two *Tentaculata spp.*, and one *Atentaculata sp.*

**Key words:** gelatinous zooplankton, checklist, Lake Hamana